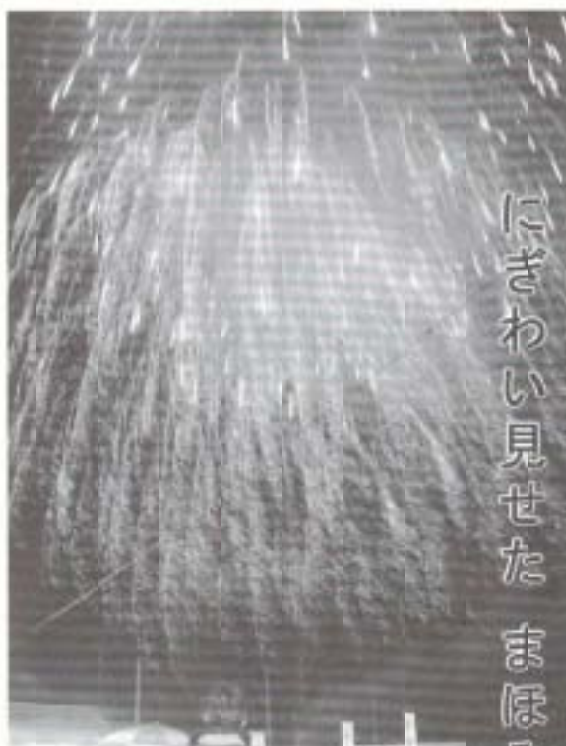


にぎわい見せた まほろば祭り



すっかり市民の祭りとして定着してきた。土佐のまほろば祭りが、八月五日、比江の北部スポーツレクリエーション施設で開催されました。

「時代の誘惑・夢紀行」と題した今年は、郷土の生んだ江戸時代の偉大な科学者・細川半蔵頼直のロマンを絶筆しようという活動を受けて、からくり半蔵研究同志会による、「茶はこび人形」の表演や、市全体の芸術文化活動の活性化を目的に今年結成された「市芸術文化研究会」による発表などが新しく行われました。



茶くみ人形の実演に多くの人だかり

ようと、舞台を低くしたり、まほろば祭りのテーマ曲を演奏したりと、工夫を凝らした取り組みが見られる中、平成学園楽隊、岡豊高校吹奏楽部、香長中学校音楽部などのすばらしい演奏も見られ、訪れたお客さんは夏の夜の楽しいひとときを過ごしました。



高知大の留学生もお国の料理で出店



かのこもった舞台発表に観客も大満足

まほろば祭りうちわ抽選会の景品が残っています

二等 CDラジカセ	一本
No 354	
四等 ミンキー人形他	八本
No 26 (下二ヶケ)	

該当の人は九月十八日まで、に商工水産課まで取りに来て下さい。

▼七月二十五日から二十八日まで、市社会福祉協議会の主催で、福祉入門教室が行われました。

福祉の現場で働く人たちの講演や体験学習などの内容に



約三十人が参加。二十六日には、実際に車椅子に乗り、社会福祉協議会から市役所まで移動。その大変さを身をもって体験しました。



▲七月二十一日、大塚小学校運動場で、夏休みを利用して全国を巡回している「夏期巡回ラジオ体操」が行われ、朝早くから約千人の住民らに参加しました。

これは、南国郵便局、県ラ

ジオ体操連盟などの主催で行われたもので、全国へ向けてで生中継されました。まず、講師の長野信一さんが南国市を紹介した後、参加者はラジオ体操で心地よハキを流しました。

マナーを守って 自然の保護を



夏、美しいバカンス……でも、この黒瀬地区の人々には大きな悩みがあります。

日本一美しい水や風、涼を求めてたくさんの方が訪れるこの地区ですが、問題は彼らの出すゴミ……幹線の道路沿いにはもちろん、キャンプに

適した川沿いなど至るところにゴミの山、加えて、ただでさえ狭い林道といわず市道といわず、車、車の大行列、高齢化の進んだ地区住民の身体的なボランティア活動によっていくらかは、緩和されても限界があります。

基本的マナーを守り、美しい環境を守りましょう。



▲8/18 姉妹都市親善小学生女子バレーボールチーム岩沼市へ出発
▼8/18 岡豊高校男子ソフトボール部高校総体優勝報告と祝賀会



▲8/16 国府小学校生徒の体験稲刈り



▲8/11 小学生のための企業訪問
▼8/11 一日食品衛生指導員による量販店などの衛生状態のチェック



▼8/17 ボトル酒賞之を県庁でPR



▲8/1 飯岩体育館起工式 来年2月完成予定



▲7/25 三和地区「ふれあい弁当」に県知事夫人李子さんが参加
▼7/22 国府福祉の村祭り



▲7/20 社会を明るくする運動



8/5
▲白根町内祭
▶南風町内祭

